

給与支払報告書(個人別明細書)

令和2年1月1日(退職者は退職時)現在の住所を正しく記入してください。

この行には何も記入しないでください。

個人番号(マイナンバー)は誤りの無いよう記入してください。

年末調整の適用を受けている場合で、控除対象配偶者がいる場合は◎に「○」を記載します。控除対象配偶者が70歳以上の場合は①にも「○」を記入します。年末調整を受けていない場合で、源泉控除対象配偶者がいる場合は◎に「○」を記載します。

配偶者控除、配偶者特別控除を受ける場合は、①に控除額、(源泉・特別)控除対象配偶者の欄に配偶者の氏名及び個人番号、②に配偶者の合計所得を記入します。国外に居住している場合には、区分の欄に「○」を記載します。

令和元(平成31)年中に各種保険料の支払いがある場合は、支払金額を必ず記入します。

社会保険料控除を受けた国民年金保険料等がある場合は、支払金額を記入します。

年末調整の際に住宅借入金等特別控除の適用を受けた場合に記入します。

○住宅借入金等特別控除適用数
当該控除の適用数を記入します。なお、適用数が3以上のときには、3回目以降の居住開始年月日、住宅借入金等特別控除区分及び年末残高を摘要欄に記入します。

○居住開始年月日
和暦で年、月、日を分けて記入します。

○住宅借入金等特別控除区分
以下の区分のうち該当するものを記入します。当該住宅の取得や増改築が特定取得に該当する場合には、「(特)」を付記します。

・**住**: 一般の住宅借入金等特別控除の場合(増改築を含む)
・**認**: 認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合
・**増**: 特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合
・**震**: 東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することができなくなった場合で、平成23年から平成33年12月31日までの間に新築や購入、増改築をした家屋に係る住宅借入金等特別控除の規定の適用を選択した場合

○住宅借入金等特別控除可能額
年末調整で控除しきれない控除額がある場合に記入します。

給与支払報告書(個人別明細書)		給与・賞与		支払金額		給与所得控除後の金額		所得控除の合計額		源泉徴収税額	
		6,847,500		4,962,750		4,136,000		0		0	
控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)の控除額		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数(本人を除く。)		障害者の数(本人を除く。)		本邦居住の人数	
○		380,000		1		1		3		5	
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額					
856,000		120,000		50,000		41,300					
(1)大原 夏子 (2)大原 夏子(年少) 前職:有限会社〇〇建設 いすみ市大原〇〇番地 平成31年3月30日退職 支払金額 1,750,000円 社会保険料 132,600円 源泉徴収税額 61,600円											
新卒の金額		国民年金		介護保険		個人年金		国民年金		国民年金	
40,000		70,000		90,000		0		0		120,000	
住宅借入金等特別控除		居住開始年月日		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分	
1		29 5 5		住(特)		住(特)		住(特)		住(特)	
住宅借入金等特別控除可能額		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分		住宅借入金等特別控除区分	
150,000		2		2		2		2		2	
(フリガナ) オオハラ ハナコ		大原 花子		大原 一郎		大原 一郎		大原 一郎		大原 一郎	
個人番号		2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	
(フリガナ) オオハラ カズオ		大原 一男		大原 一郎		大原 一郎		大原 一郎		大原 一郎	
個人番号		3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4		5 6 7 8 9 0 1 2 3 4		6 7 8 9 0 1 2 3 4		7 8 9 0 1 2 3 4		8 9 0 1 2 3 4	
(フリガナ) オオハラ フミコ		大原 三子		大原 次郎		大原 次郎		大原 次郎		大原 次郎	
個人番号		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5		6 7 8 9 0 1 2 3 4 5		7 8 9 0 1 2 3 4 5		8 9 0 1 2 3 4 5		9 0 1 2 3 4 5	
(フリガナ) オオハラ サクコ		大原 一子		大原 三郎		大原 三郎		大原 三郎		大原 三郎	
個人番号		5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6		7 8 9 0 1 2 3 4 5 6		8 9 0 1 2 3 4 5 6		9 0 1 2 3 4 5 6		0 1 2 3 4 5 6	
(フリガナ) オオハラ モモコ		大原 桃子		大原 春子		大原 春子		大原 春子		大原 春子	
個人番号		6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7		8 9 0 1 2 3 4 5 6 7		9 0 1 2 3 4 5 6 7		0 1 2 3 4 5 6 7		1 2 3 4 5 6 7	
外国人		乙		丙		丁		戊		己	
○		○		○		○		○		○	
中途就・退職		受給者		生		年		月		日	
○		○		○		31		4		1	
個人番号又は法人番号		住所(居所)又は所在地		氏名又は名称		支		払		者	
2 1 1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0		千葉県いすみ市御町長者〇〇番地〇		〇〇〇〇株式会社		支		払		者	
(右欄で記入してください。)		(電話) 0470-△△-△△△△		(摘要) 前職分の加算額、支払者等を記入してください。							

本人の確認に必要な事項です。フリガナも必ず記入してください。

扶養親族等(配偶者・年少扶養者を含む)が国外にいる場合に人数を記入します。

扶養親族等(配偶者・年少扶養者を含む)のうち、特別障害者の人数を①に、普通障害者の人数を②に記入します。①のうち同居している場合は③にその人数を記入します。

年少扶養者(0歳から15歳)がいる方は人数を記入します。(※控除対象扶養親族以外)

控除対象扶養親族がいる場合、年齢に応じてそれぞれ該当する欄に人数を記入します。
◎: 特定扶養者(19歳~22歳)
①: 老人扶養者(70歳以上)
(①のうち同居直系尊属がいる場合は②にも記入)
②: その他の扶養者(16歳~18歳、23歳~69歳)

以下に該当する場合、必要事項を記入してください。

○控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合
対象者の氏名を記入します。
・氏名の前には個人番号記載欄との対応関係が分かるよう、括弧書きの数字を付してください。
・16歳未満の場合は、氏名の後に「(年少)」と付記します。
・対象者が国外にいる場合、氏名の後に「(非居住者)」と付記します。

○他の支払者の給与等を合算して年末調整した場合
合算してある給与等の支払者名、所在地、支払金額、社会保険料額、源泉徴収税額、退職年月日を記入します。
※記入がない場合、年末調整者の支払い分のみを報告として取り扱います。

○普通徴収に切替える場合
普通徴収切替理由の該当する符号「普A~普F」のいずれかを記入します。(5月末までの退職予定者は、退職予定年月日も記入します。)

○提出後に訂正する場合
新たに給与支払報告書を作成し、「訂正」と記入して再提出してください。

○個人番号又は法人番号
給与支払者の個人番号又は法人番号を記入します。個人番号を記入する場合(個人事業主)は1字目を空白にし、右詰めで記入します。

○氏名又は名称
個人事業主の場合は氏名を記入してください。屋号などがある場合は、氏名の後ろに括弧書きで付記してください。

本年中に中途就職又は退職した場合は、「就職」又は「退職」の該当する欄に「○」を付し、その月日を記入します。なお、中途就職の方が、同一年内に退職した場合は下のように二段書きで記入します。

中途就・退職		
就職	退職	年 月 日
○		31 1 20
	○	元 9 30

⑦未成年者から⑧勤労学生の各欄は、本人が該当する場合に「○」を記入します。

本人の確認に必要な事項です。誤りのないよう、正確に記入してください。

○控除対象扶養親族及び16歳未満の扶養親族
それぞれ対応する扶養親族等の氏名、フリガナ及び個人番号を記入します。また、その方が国外に居住している場合には、区分の欄に「○」を記載します。

○5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号及び5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号
控除対象扶養親族が5人以上いる場合及び16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の個人番号を記載します。この場合、個人番号の前には「摘要」の欄において氏名前に記載した括弧書きの数字を付し、「摘要」の欄に記載した氏名との対応関係が分かるようにしてください。